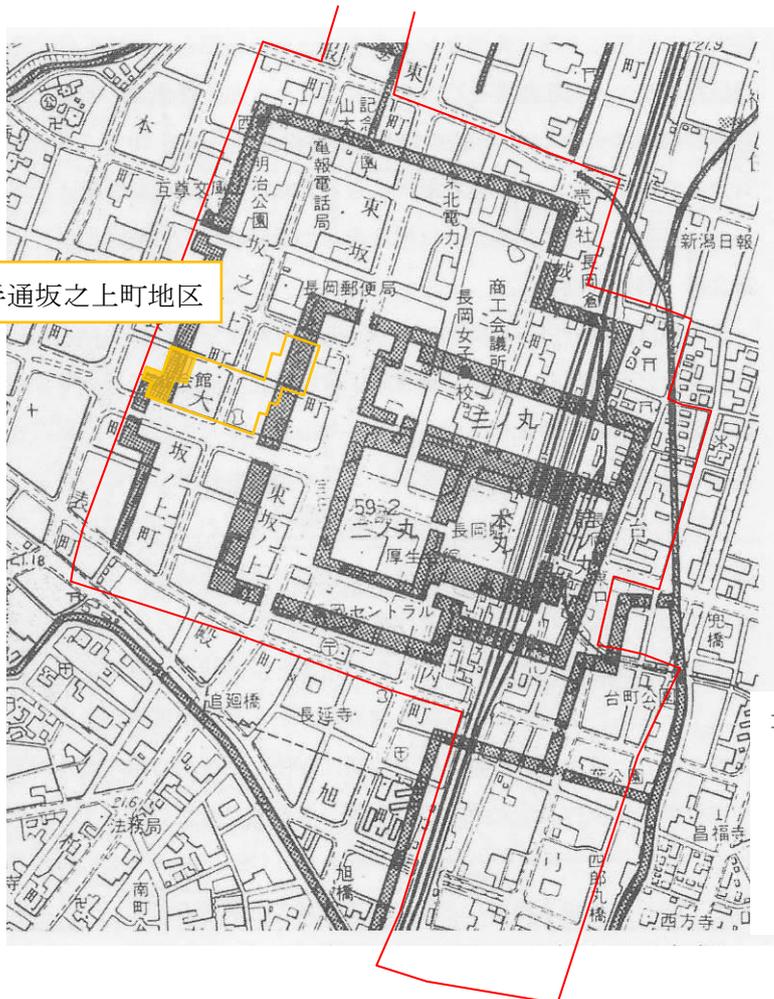


## 長岡城跡（大手通坂之上町地区）発掘調査事業について

調査地	長岡市大手通2丁目
調査原因	大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業
調査期間	令和3年2月1日～令和3年4月14日
調査主体	長岡市教育委員会
調査担当	科学博物館文化財係係長 鳥居美栄
調査面積	1,038 m <sup>2</sup> （南区 588 m <sup>2</sup> 、北区 495 m <sup>2</sup> ）
現況	市街地
遺跡の立地	信濃川右岸の沖積地

長岡城跡の概要 現在の JR 長岡駅付近に本丸、その西に二の丸、北に三の丸が配される  
 梯郭式の近世城郭遺跡。今回の調査対象地は町口門北側と推定される。

調査結果 町口門北側の屈曲する堀の基底部を検出。一部で土留め杭列を確認。  
 町屋側の範囲（堀の西側）で土坑4基を検出  
 堀、土坑から陶磁器、木製品、金属製品、石製品が出土



大手通坂之上町地区

事業地位置図 (S=1/10,000)

(赤線：長岡城跡の範囲

網掛け：堀跡推定位置)

(『新潟県遺跡地図 昭和54年度版』から加筆・転載)